平成２９年度障害福祉関係予算

（１）主な障害福祉事業

○ 障害福祉サービス事業経費（施設型）

（Ｈ２８）１５，５６８，９１１千円 → １６，２３３，９６０千円

（＋６６５，０４９千円） 4.3%↑

○ 障害児通所・入所支援経費

（Ｈ２８） ２，８９７，６８１千円 → ３，３００，９６１千円

（＋４０３，２８０千円）13.9%↑

○ 居宅系介護給付費及び移動支援事業経費

（Ｈ２８） ２，１４３，０９４千円 → ２，２３１，３８６千円

（＋ ８８，２９２千円） 4.1%↑

○ 共同生活援助事業経費

（Ｈ２８） ２，０３０，６９１千円 → ２，４１９，２８４千円

（＋３８８，５９３千円）19.1%↑

（２）平成２９年度に拡充・新規で取り組む障害福祉施策

○ 総合療育センター再整備事業

２，５１８，５００千円

（他に債務負担 ５４６，０００千円）

平成３０年度中の開所に向けて、障害児の療育及び医療の中核施設である総合療育センターの再整備工事を実施するとともに、医療機器の購入や情報システムの構築を実施する。

○ 障害者差別解消法推進事業

１４，３００千円

（１）平成２８年４月の「障害者差別解消法」の施行に伴い、障害を理由とした差別の解消を推進するため、「北九州市障害者差別解消相談コーナー」や障害者差別解消支援地域協議会の運営、普及・啓発活動、コミュニケーション支援を強化する。

（２）本市独自の（仮称）障害者差別解消条例を策定する。

○　（次期）北九州市障害者支援計画策定事業

７，０００千円

障害者基本法、障害者総合支援法に基づき策定している「北九州市障害者支援計画」が平成２９年度末で終了するため、次期計画を策定する。

○ 障害者就労支援事業等

４１，３０３千円

しごとサポートセンターを中心に、個々の障害者の状況に応じて、就労に到るまでの段階や就職後の定着を支援する。

また、障害者ワークステーションにおいて、知的障害者・精神障害者を嘱託員として雇用し、市役所内での勤務経験を活かして民間企業への就職につなげていく。

○ 訪問入浴サービス事業

２２，６５１千円

（うち拡充分３，５００千円）

常時介護を要する重度障害者を対象に、移動入浴車を派遣して入浴サービスを提供する訪問入浴サービス事業において、皮膚疾患や褥瘡を防止し心身機能の維持を図るため、平成２９年度より週２回の派遣期間（７月～９月）を５月～１０月へ拡充する。

○ 重度障害者大学等進学支援事業

６，０００千円

命の危険回避のための支援が必要な、生命維持装置を装着している重度の全身性障害者を対象に、通学や学校内の活動等の際の介助を提供することで、大学等への進学を支援する。